

会議報告書

会議名	令和7年度第1回地域連携推進会議（グループホーム見学）
日時	令和7年10月20日（月）13：30～15：30
場所	会議室
出席者	地域関係者、経営知見者、利用者家族関係者、利用者 園長、総務部長、地域支援部長、支援部長
議題	<p>1 開会 園長挨拶 第1回目は施設を知っていただくことを中心に本日実施。2回目は3月頃を予定している。</p> <p>2 委員紹介 各委員より自己紹介</p> <p>3 グループホーム紹介（見学） ひのきホーム⇒そらホーム⇒ゆめホーム⇒すみれホーム⇒めいホーム⇒いずみホームの順で見学。 ・平屋建て、2階建てのグループホームの特徴、ハード面の説明を行う。 ・各ホームの利用者概要についての説明を行う。 ・各ホームの部屋の配置等説明し、体験部屋を視察していただく。 ・各ホームの共有部分についての説明を行う。</p> <p>(1) 地域連携推進会議について 総務部長より会議の目的・役割について資料をもとに説明。</p> <p>(2) 令和6年度グループホーム利用状況及び取組状況について 地域支援部長より、配布資料より利用者の概要、昼間サービス内容、年間事業計画についての説明を行う。 グループホーム見学と昨年度状況の報告から、各委員のご意見・ご感想を伺う。 ○福祉知見者：各ホームとも清潔感があり、世話人等職員が常に気をかけて業務をしていると感じました。また、定員に対して空部屋があり、どのような対策をして定員を補充していくのか、経営面で不安がでてこないのか。 ○利用者家族：他の事業所では、定員が少なくなると閉鎖してしまうことがみられるが、厚木精華園はこのようなことがないようにお願いしたい。各ホームはとても清潔であり、特に女性ホームで廊下等に自分の趣味で作成した手工芸品が飾られていて、とても雰囲気がよく、きれいであった。入居者のみなさんが一人の方の趣味を共有し、職員と協力しながらすてきな空間が保つことができていると素晴らしいと感じました。 ○地域関係者：以前、自分が働いていた時代は掃除が行き届かず苦勞していたが、各ホームとても清潔と感じました。女性ホームで自分で習ってきたことを飾ったり、生き物（めだか）を飼育していることに対してやさしさを感じました。 働いている世話人さんとも地元自治会との連携・顔見知りになることで、よこの繋がりができ協力体制が構築できると感じています。 入居者数を増やすことで、地域も活性化ができると感じているので、がんばってほしい。 厚木市より、鳶尾四丁目の賀詞交歓会にてどんど焼きを行うが、撮影を依頼されているの</p>

で、協力したい。(行事の参加時に利用者の写真掲示確認についての質問あり)
○利用者：本日はありがとうございました。

4 その他

神奈川県 厚生常任委員会報告について
指定管理期間延長について、改めて延長期間の確認があり回答。

5 閉会

以上

会議報告書

会議名	令和7年度第2回地域連携推進会議（グループホーム）
日時	令和8年3月26日（木）13：30～14：45
場所	会議室
出席者	地域関係者、経営知見者、福祉知見者、利用者家族関係者、利用者園長、総務部長、地域支援部長、支援部長
1 開会 園長挨拶	今年度2回目の会議。法令上、見学1回、意見交換1回の開催を求められている。主たる内容は3月14日神奈川県からの説明を中心に報告。1回目の感想を含め、是非ご意見をいただきたい。
2 運営状況報告	<p>(1) 令和7年度グループホーム移行実績及び取組み状況について（資料①参照） 前回6か所2時間かけて見学いただいた。その際、入居定員が埋まっていないことへの改善策を検討するよう、ご意見いただき取組んだ内容について地域支援部長より報告。</p> <p>① 厚木精華園からグループホーム見学・昼食体験・宿泊体験の下半期実績報告。 見学延べ17名、休日グループホームでの昼食体験延べ14名、宿泊体験延べ11名が実施。 建物や場所等を見学した後、グループホーム内で昼食を食べる、世話人との交流、買い物等を体験。その後、グループホームに興味をもった方が宿泊体験へと進めた。結果、1月14日に男性利用者1名が移行された。また、女性2名が体験を重ねており、次年度早々に移行予定である。現在30名定員中23名となっている。定員には満たしていないため、相談支援事業所等と連携を図りながら、引き続き取り組んでいく。</p> <p>② 3月1日グループホームメンバー23名中22名で愛川町にある「ひだまり農園」でいちご狩りのイベントを実施。コロナ禍以降、みんなで実施する行事ができていなかったが、皆、楽しめて良い機会になった。移動を含めトータル2時間ほどのイベントであったが、高齢の利用者には丁度良いイベントだった。</p> <p>地域関係者：町内には多くのホームがあるが、そらホームの定員5名は入って欲しい。 人数が多い方が地域そのものも活性化すると考えているので、是非移行を進めて欲しい。</p> <p>福祉知見者：段階を踏んで見学、体験を進めた中で、実際に体験された利用者の感想は。 支援部長：グループホーム利用者や世話人がいない時間の見学では「誰もいなくて寂しい。」という感想があり、休日の昼食場面の体験とした。当初は「外出」という認識の利用者が多かったが、宿泊まで繋がった方から、他の利用者へ楽しかった経験を伝え、そこから興味を示される方がいた。職員側から情報提供をしてきたが、利用者同士の情報交換も有効であった。宿泊体験へ繋がった方の感想は一部迷っている方もいるが、概ね好評。</p> <p>福祉知見者：一人ひとりの意向に合わせた対応は大変だと思う。1名の実績を有効なものへ繋げて欲しい。高齢の方が多いと思うので、グループホームに移行された際、介護保険の活用を。</p> <p>福祉知見者：そらホームの横に野百合園のグループホームがあるが、そこも空いていて現員4名。4月から1名他市から入居予定。本体からの移行も検討したが、重度の方が多く難しい。次年度は、サービス管理責任者が週1回グループホーム</p>

に泊り、利用者の様子をみていく。現入居者は就労支援B型等で働き収入を得ているが、個々のモチベーションを上げるためには、収入格差が課題となっている。

地域関係者：差し支えなければ野百合園入居者の収入はどのくらいか教えて欲しい。

福祉知見者：就労支援B型へ週5日の方で3万円/月。週3日の方で2万円/月位。

利用者家族：いちご狩りについて、後見人をしている利用者より「みんなで行ってきた。」と報告があった。グループホームに写真も飾られていた。

今回のことで、ガイヘルでの個別外出とは別で、皆で行くことの大事さを感じた。外出を拒む方でも皆で行くならと参加できることは良いと思った。

厚木市内80カ所のグループホームがあると聞いている。営利目的の事業所が増えていて、次年度国報酬減額等も聞いている。営利目的の所は悪いうわさがたてば閉鎖する怖さもある。それだけ大きな問題になっているので、ノウハウができていく厚木精華園が大事だと思っている。

利用者：「いちご狩り楽しかった。たくさん食べた。」と笑顔で報告。

地域関係者：過去、地域の方も一緒に「桃狩り」に行った。そこで利用者とも意思疎通が図れるようになった。今後も一緒に行事等ができればと思っている。

(2) 厚木精華園の今後について

- ① 3月14日神奈川県より家族等へ説明があった内容を、総務部長より報告。

(厚木精華園の今後について)

利用者家族：14日にもたくさん質問させていただいたが、明確な回答はなかった。「維持困難」と結論づけたなら、どうするか聞いたが回答は得られなかった。

地域関係者：指定管理期間は今年度で終了なのか。

総務部長：第二期指定管理期間は終了だが、2年延長が決まった。

地域関係者：県議会の自民党議員の発言で、中井やまゆり園で虐待が横行しているとの意見あり。そのような話題が上がると不安。厚木精華園は大丈夫だと思うが、鳶尾にある他のグループホームが閉鎖的で分からない。共生社会を作り上げるために、利用者、世話人、職員との情報共有が大事だと思っている。

園長：国や行政は、不祥事に対して対応・対策をとっていることを説明。

地域関係者：虐待を疑う声等、悪いうわさがたてば今後のGH運営に影響してしまうので心配。共生社会をつくるには相互の情報共有が重要だと思う。

中井やまゆり園の事案から、当園の対応について園長より説明。

(3) その他

- ① グループホームの今後について園長より説明。令和6年度相談支援事業所を統合したように、法人内でグループホームの統合について、法人のスケールメリットを活かし検討していく。

- ② 福祉知見者より「おぎNOW。」について報告。地域関係者へポスターを提示。

以上